

観光業界における希望のつくり方

—エイチ・アイ・エスと星野リゾートのたゆまぬ経営革新—



コロナ禍で深刻なダメージを受けた観光業界。もはや目新しい情報ではありませんが、昨年 10 月の訪日外国人数、日本人出国者数は前年の 2%弱にとどまり、「海外旅行」市場は壊滅状態です (<https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/>)。また、同月の国内旅行市場は「GoTo トラベル」の後押しを得ながらも前年対比 61%であり、足元の感染拡大を受けてさらに減少することが予想されます (<https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/toukei/content/001378815.pdf>)。

このような過酷な市場環境のなか、説得力のある形でビジネスの希望をつくることは果たして可能なのでしょうか？ 今回は、観光業界の代表企業であるエイチ・アイ・エスと星野リゾートを取り上げ、絶望的な状況で繰り出した彼らの打ち手を見たいと思います。

エイチ・アイ・エスは、1980 年に格安国際航空チケット販売の先駆者として事業をスタートさせ、2019 年 10 月期の連結売上高は 8,085 億円と巨大企業に成長しています。コロナ禍前から、「ハウステンボス」「変なホテル」の運営など、新規事業に積極的に取り組んでいます。星野リゾートは、リゾートホテルや温泉旅館の経営・運営受託を手がけています。「星のや」や「界」といったブランドはいまや広く知れ渡っています。コロナ禍では、施設近隣から客を呼び込むマイクロツーリズムを提唱しています。

今回は座長が資料を作成し、解説をします。幸いにも、両社はメディアで熱心に情報発信をされていますので、オープン情報を基に施策を整理します。また、コロナ禍以降の打ち手だけではなく、それ以前の取り組みも明らかにし、たゆまぬ経営革新の流れを読み取りたいと思います。

もちろん、彼らの打ち手が功を奏するかどうかは分かりません。しかし、貴重なケーススタディとして現時点での情報を共有したうえで、両社の次の手に頭を巡らせながら、私たち自身のビジネスのかじ取りを考える場にしたいと思います。なお、コロナ感染の状況が見通せませんので、リアル参加およびオンライン参加の両方を受け付けます。

日時 2021年2月6日(土) 14時 ~ 17時20分
(終了後、リアル参加者の有志で懇親会を予定しています)

場所 リアル会場：若杉大阪駅前ビル7階会議室
オンライン：前日までに zoom の URL を配信します

人数 20 名程度

会費 3,000 円 (リアル参加者のみ、税込)

お申込み こちらのサイトからお申込み下さい
<http://www.zeta-consulting.jp/>

主催 ゼータコンサルティング株式会社

